

福山の能文化集う場に

福山に息づく伝統文化の能をもっと身近に感じてほしい。福山市光南町の喜多流大島能楽堂に、多目的スペース「伝」が完成した。展示や発表、教室など自由な活動の場として17日から貸し出す。

能舞台やけいこ場がある3階建ての能楽堂の1

大島能楽堂に 交流空間誕生

階に、約40平方メートルのスペースを設けた。床は松材で仕上げ、2カ所に明かり障子を付けた。ヒノキ製のテーブルをあつらえ、和の空間を演出している。

能楽堂の大島泰子さん(64)は「能につながるさまざまな文化を持ち寄り、伝え合い、交流できる気軽なサロンのような場にしたい」と意気込む。1日1万円、2時間3千円で貸し出すほか、体験学習などで能を学びに訪れる人のけいこ場としても使う。

19日まで、笠岡市大井南の花師倉田安敏さん(60)がオープニングを飾る。木の実やケイトウをあしらった、秋から冬へと移りゆく季節を約10点の作品で表現する。入場無料。☎084(923)2633。(伊藤敬子)



オープンを控えて展示の準備を進める大島さん(左)と倉田さん

